

## 2022年度 第3回運用容量検討会 議事録

日 時：2022年12月12日（月）13：30～14：00

場 所：Web 開催

出席者：

- 酒井 寛好（北海道電力ネットワーク株式会社 工務部系統運用担当課長）
- 宮崎 裕一（東北電力ネットワーク株式会社 電力システム部給電グループ課長）
- 福田 拓広（東京電力パワーグリッド株式会社 系統運用部系統運用計画グループマネージャー）
- 濱田 大善（中部電力パワーグリッド株式会社 系統運用部系統技術グループ課長）
- 山上 直（北陸電力送配電株式会社 電力流通部系統運用・保護チーム副課長）
- 吉田 貴之（関西電力送配電株式会社 系統運用部系統技術グループチーフマネージャー）
- 保田 創（中国電力ネットワーク株式会社 系統運用部系統技術グループマネージャー）
- 楠 俊成（四国電力送配電株式会社 系統運用部給電グループリーダー）
- 小杉 成史（九州電力送配電株式会社 系統技術本部電力品質グループ長）
- 下形 竜也（電源開発送変電ネットワーク株式会社 変電・系統技術部系統技術グループリーダー）

事務局

- 久保田 泰基（電力広域的運営推進機関 運用部長）
- 田治見 淳（電力広域的運営推進機関 運用部担当部長）
- 江郷 賢人（電力広域的運営推進機関 運用部マネージャー）
- 首藤 隆徳（電力広域的運営推進機関 運用部マネージャー）
- 永吉 広樹（電力広域的運営推進機関 運用部）
- 山名 涼太（電力広域的運営推進機関 運用部）
- 菊池 紀隆（電力広域的運営推進機関 運用部）
- 秋葉 千曲（電力広域的運営推進機関 運用部）
- 酒井 重和（電力広域的運営推進機関 運用部）
- 太田 祐貴（電力広域的運営推進機関 運用部）
- 笠 勇夫（電力広域的運営推進機関 運用部）
- 後藤 光（電力広域的運営推進機関 運用部）

配布資料

- 1-1 熱容量の適用期間細分化（検討結果）
- 1-2 夏季・冬季熱容量の整理・公表（検討結果）
- 2-1 地域間連系線運用容量の算出方法見直しについて（意見募集案）
- 2-2 地域間連系線運用容量算出方法見直しに伴う「各連系線の運用容量算出方法・結果」新旧比較表（意見募集案）

議題1：運用容量算出における検討課題の検討結果について

検討課題（1）「熱容量の適用期間細分化（検討結果）」

四国送配電から資料1-1について説明を行った。主な議論は以下のとおり。

〔主な議論〕○検討会 ●事務局

- ：2023年度以降の運用容量算出においては、今回の検討を踏まえ、周囲温度によって適用期間を細分化した熱容量にて運用容量を算出する。

検討課題（2）「夏季・冬季熱容量の整理・公表（検討結果）」

中部電力PGから資料1-2について説明を行った。主な議論は以下のとおり。

〔主な議論〕○検討会 ●事務局

- ：昨年度から検討を継続していた、冬季の熱容量限度値と適用期間について整理いただき統一化できた。2023年度以降の熱容量の考え方に反映する。

議題2：地域間連系線運用容量の算出方法見直しに対する意見募集について

事務局から資料2-1、2-2について説明を行った。主な議論は以下のとおり。

〔主な議論〕○検討会 ●事務局

- ：今回、算出方法の見直し（資料2-1）と、毎年3月に公表している「各連系線の運用容量算出方法・結果」に算出方法の見直しを反映した新旧比較表（資料2-2）を公表し、算出方法の意見募集を実施する。なお、意見募集期間は2022年12月23日～2023年1月18日を予定している。

以上